



2023年 2月 2日
第127号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 助川一実
編集情宣担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



不誠実団交・パワハラ日勤教育を許さない怒りの緊急集会



2023年2月1日藤沢商工会館ミナパークにて、「不誠実団交・パワハラ日勤教育を許さない怒りの緊急集会（横地申15号団体交渉緊急報告集会）を開催しました。

91名の仲間と共に福知山線脱線事故を振り返り、横地申15号第1回団体交渉の内容を確認しました。不誠実な団体交渉、懲罰的日勤教育を正当化する会社姿勢を許さず、仲間の命と鉄道の安全を守るために、引き続き全国の仲間と共にたたかうことを意思統一しました。

【参加者からの声】

- 本人がハラスメントと訴えても会社は認めない。ここまで会社が腐っているとは驚いた。社員を守れるのは労働組合しかない。当該運転士が「たたかう」と一歩前に出てくれた勇気を無駄にせず今後も共にたたかっていく。
- 日勤教育の内容、会社姿勢に怒りしかない。自分の成長のための努力は自分の身になるが、誰かにアピールするための努力は自分の身につくものにならない。
- ハラスメントは被害者が言うもの。加害者側から見たらハラスメントがなくなるのは当たり前。会社のマインドという言葉は宗教や詐欺と同じとを感じる。
- 懲罰的日勤教育をされれば、自分の身を守りたいと事実を報告しない社員が出てくる。危ないと思っても列車を止められなくなる。
- 会社の曲がった姿勢をたたき直さなければ、このままでは会社がつぶれる。
- アピールするために改善活動をするのか？目的と手段が逆になっている。職場でおかしなことはないかチェックしていかなければならない。
- 当該運転士が生きていてくれてよかった。ハラスメントを行う管理者をそのまま在任させ続ける会社はおかしい。一致協力して当該運転士を守っていこう。

命を守るために仲間と共にたたかおう！